

状況記録写真

(様式6)

区分	自主
----	----

森林技術センター



よれ(267 椽班へ行く間の和石からの川)

上流部から撮影 (増水時に歩道(木橋)が流失していた。)
H15. 1/8



同-上

下流部から撮影 H15. 1/8

状況記録写真

(様式6)

区分

自主

森林技術センター



橋脚の上に丸太を乗せる
(上流から) H15.3.24



歩道(本橋)完成 (上流から) H15.3.24



同上 (下流から) H15.3.24



同上 (下流から) H15.3.24

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課 題	33 耐陰性スギ系統による無下刈試験				開 発 期 間	平成10年度～平成20年度							
開 発 箇 所	去川国有林 267ぬ ₃ 林小班	担 当 部 署	森林技術センター	共 同 研 究 機 関	林木育種センター 九州育種場	技 術 開 発 目 標	3	特 定 区 域 内 外	○				
開 発 目 的 (数 値 目 的)	人工被陰施設（寒冷紗）で生育良好な苗木を植栽し無下刈試験林を設定。生育過程等を解明（実証）する。												
年 度 別 実 施 報 告	15年度 実 施 報 告					16年度 実施計画書							
	実 施 内 容					普 及 指 導							
平成10年度 ①地拵え・植付②調査プロット設定 ③設定時調査（根元径・樹高・枝張り）④試験地標示 平成11年度 ①下刈・無下刈②生長量調査（根元径・樹高・枝張り）③枯損調査 平成12年度～平成14年度 ①下刈・無下刈②つる切③生長量調査（根元径・樹高・枝張り）④枯損調査	<p>1, 下刈・無下刈（6月） 下刈区3箇所を下刈実施（全刈） 面積：0.27 ha 人工数：2,000人</p> <p>2, つる切（8月） 面積：0.27 ha 人工数：2,500人 白灯油：2ℓ</p> <p>3, 試験地調査（生長量） 平成16年2月調査（野帳別途保管） 人工数：5,000人</p> <p>4, 試験地管理 林木育種センターと現地での打合せ 人工数：3,500人</p>					<p>1, 実施結果 下刈区は、尾根筋は生育が悪いが、下方に降りるにつれ生育は良好である。 無下刈区は、雑灌木等の枝条等で、側圧及び被圧を受け上長生長に影響が出ている。 なかには、芯の部分が枯れ、脇芽の枝が生長し途中から曲がった試験木もあった。また、最下部の水分の多い箇所では、生長が著しく悪い箇所もある。 今後の計画について、林木育種センターと打ち合わせた結果、無下刈区では、雑灌木等の側圧・被圧で試験木の上長生長が期待できないので、試験地の半分を除去し、今後の生長の状況を調査して行くこととした。</p>				<p>1, 下刈 2, つる切 3, 除伐（無下刈区の約半分） 3, 生長量調査 根元径・樹高・枝張り</p>			
技術開発委員会における意見													

(注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標（九州森林管理局長通達）」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

試験経過記録

(様式3-1)

区分	自主課題
----	------

森林技術センター

平成14年度実施内容

- 1, 下刈・無下刈 (6月)
 下刈区3箇所を下刈実施 (全刈) 面積: 0.27ha
 面積: 0.27ha 人工数: 4,500人
 2, つる切 (8月)
 面積: 0.27ha 人工数: 4,000人
 白灯油: 2%

- 3, 試験地調査 (生長量) 平成15年1月調査 (野帳別途保管)
 人工数: 5,000人

系統名	下刈区		無下刈区		系統名	下刈区		無下刈区	
	根元径	樹高	根元径	樹高		根元径	樹高	根元径	樹高
肝属1	31	197	19	156	鉄肥署6	23	132	13	113
肝属2	30	191	18	147	国東2	17	132	11	115
謙早1	25	197	18	148	日南7	18	112	11	85
杵島2	23	134	16	106	日向署2	28	174	16	142
熊木署5	26	180	15	116	宮崎署8	23	156	16	134
薩摩5	29	155	14	118	都城署5	21	126	14	126
薩津11	16	103	13	93	鉄肥署7	27	172	13	121
日南4	24	164	14	120	宮崎署1	20	133	12	104
八女10	25	134	16	119	始良19	30	164	17	133
福岡署1	26	138	16	118	川辺14	27	164	15	130

考察

下刈・無下刈ともに生長は良好である。
 無下刈区は、雑灌木等の枝条等で、側圧及び上部の枝等で上長生長に影響が出始めた。
 なかには、芯の部分が枯れ、脇目の枝が生長し途中から曲がった試験木も見られた。
 試験地までの歩道に和石川があり、毎年増水期には木橋が流失していたので、本年度コンクリート橋脚を作り、増水期でも通れるよう歩道の整備を実施した。

平成15年度実施内容

- 1, 下刈・無下刈 (6月)
 下刈区3箇所を下刈実施 (全刈) 面積: 0.27ha 人工数: 2,000人
 2, つる切 (8月)
 面積: 0.27ha 人工数: 2,500人 白灯油: 2%

- 3, 試験地調査 (生長量) 平成16年2月調査 (野帳別途保管)

系統名	下刈区		無下刈区		系統名	下刈区		無下刈区	
	根元径	樹高	根元径	樹高		根元径	樹高	根元径	樹高
肝属1	42	752	22	178	鉄肥署6	29	170	15	125
肝属2	39	236	21	166	国東2	21	168	13	123
謙早1	32	242	21	170	日南7	23	137	12	99
杵島2	29	167	19	120	日向署2	37	222	19	161
熊木署5	31	221	17	127	宮崎署8	30	213	18	155
薩摩5	36	201	15	131	都城署5	28	161	17	138
薩津11	20	125	15	105	鉄肥署7	36	216	15	133
日南4	31	209	16	136	宮崎署1	26	164	13	117
八女10	33	175	18	133	始良19	39	211	19	152
福岡署1	33	178	17	137	川辺14	34	200	17	145

人工数: 5,000人

- 4, 試験地管理
 林木育種センターと現地での打合せ
 人工数: 3,500人

考察

下刈区は、尾根筋は生育が悪いが、下方に降りるにつれ生育は良好である。
 無下刈区は、雑灌木等の枝条等で、側圧及び被圧を受け上長生長に影響が出ている。なかには、芯の部分が枯れ、脇目の枝が生長し途中から曲がった試験木もあった。また、最下部の水分の多い箇所では、生長が著しく悪い箇所もある。
 今後の計画について、林木育種センターと打ち合わせた結果、無下刈区では、雑灌木等の側圧・被圧で試験木の上長生長が期待できなくて、試験地の半分を除伐し、今後の生長の状況を調査して行くこととした。

- 記載要領 1 調査結果及び考察を記入する。
 2 状況写真は別途整理する。